

質問に対する回答について

工事名) 東北中央自動車道 天童南スマートIC 工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	採用された設計単価月をお教えてください。	積算にあたっては、貴社の計画に基づき必要な費用を計上してください。
2	数量明細書において 数量が【NEXCO 事業区分】、【天童市事業区分】 に区分けされておりますが施工は天童市事業分 も NEXCO 積算基準に基づいて施工すると考 えてよろしいでしょうか。 また、各単価の「検測」は事業区分毎ではなく単 価数量に対する「検測」と捉えてよろしいでし ょうか。	そのとおりです。
3	数量明細書 1/13 番号 6 2-(5) 盛土工 A3 に おいて 天童市事業区分・土工が (-1,609.6m ³) となっ ておりますが(-) 計上の意味合いをお教えくだ さい。	閲覧資料を参照ください。
4	数量明細書 1/13 番号 7 2-(6) 構造物掘削、普 通部において C-P STA.188+7.300 275.7m ³ →101.7m ³ C-P STA.191+18.700 365.0m ³ →78.4m ³ (数量計算書より) ではないでしょうか。	設計図(擁壁工) 12/22・13/22、16/22・17/22 の 数量表に示すとおり、C-P 施工に関連する軽量盛 土工部の構造物掘削 普通部を含む数量となりま す。
5	特記仕様書 4.4-1 材料調達に伴う変更において 骨材、土砂、仮設鋼材の調達地域が記載されて おりますが、設計時の具体的な調達先が判ればお 教えください。	貴社の施工計画にてお考えください。
6	特記仕様書 6.6-1 工事用地等の確保において 当該場所は図面(土工) 3/134 位置図(3) にお ける「A 部」の斜線枠でよろしいでしょうか。ま た、この場所での制限で「使用してはならない」 とありますが当該場所への進入通路を確保しな ければいけないでしょうか(周辺での仮囲い等 設置の是非)	そのとおりです。なお、進入通路を確保する必要 はありません。
7	特記仕様書 26.26-20 撤去工、補強盛土壁におい て 撤去対象は鋼製壁面材となっておりますが土中水 平部材を含め面材として撤去すると考えてよろ しいでしょうか。その場合は背面土砂の除去も 伴うため露出面の保護が必要になった場合、協 議事項と考えてよろしいでしょうか。	鋼製壁面材の撤去のみとお考えください。なお、 施工に伴う土中部の水平部材の撤去及び処分、露 出面保護は別途協議とお考えください。

8	<p>特記仕様書 26.26-20-3 撤去工、事前調査</p> <p>「監督員が再利用を指示した場合は・・・協議し定めるものとする。」とありますので、設計上は全て再利用無しで積算すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>そのとおりです。なお、特記仕様書のとおり、監督員が再利用を指示した場合の費用については、別途協議事項となります。</p>
9	<p>特記仕様書 26.26-16-7 補強盛土工、支払</p> <p>図面(擁壁工) 11/22 補強盛土工詳細図において組立概要図に「*計画高に合せ不要部をカット」と明示されていますが特記仕様書 支払 では切断の項目がありません。</p> <p>鋼製枠組立個当りに切断費を含めて算出すると考えてよろしいでしょうか。また、不要部切断長を明示願います。</p>	<p>補強盛土工に切断費は含まれます。特記仕様書の記載が不足していましたので交付図書を訂正致します。後日、訂正公告をご確認願います。(2月8日掲載予定)</p> <p>なお、切断長については、設計図に基づきお考えください。</p>
10	<p>特記仕様書 26.26-15 油水分離ます</p> <p>図面(土工) 125/134~132/134 油分離ます詳細図(1)~(8)において</p> <p>支払いは掘削、埋戻しを含んでおりますが詳細図面では掘削数量、埋戻し数量が明記されておりません。明示願います。</p>	<p>設計図(土工) 125/134~132/134において、掘削及び埋戻し数量の記載が不足しておりました。正しくは、以下となります。</p> <p>油水分離ます A:掘削 10.25m³,埋戻し 4.97m³ 油水分離ます B:掘削 11.17m³,埋戻し 4.74m³ 油水分離ます C:掘削 89.78m³,埋戻し 85.37m³ 油水分離ます D:掘削 65.84m³,埋戻し 62.48m³ 油水分離ます E:掘削 117.33m³,埋戻し 112.82m³ 油水分離ます F:掘削 119.13m³,埋戻し 109.91m³</p> <p>なお、残土処理に係る費用は別途協議となります。上記については、交付図書を訂正致します。後日、訂正公告をご確認願います。(2月8日掲載予定)</p>
11	<p>単価表 番号 50,51,52 用・排水溝 VS 1.00・b(F)、図面(土工) 107/134 用排水工詳細図(5)において</p> <p>凍上抑制層上に施す「押え土」の使用材料は現場発生土を利用すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>そのとおりお考えください。なお、設計図(土工) 107/134 の数量表に誤りがありました。正しくは、以下となります。</p> <p>用・排水溝 Vs・1.00・0.80 (F) 残土:19.81m³ 用・排水溝 Vs・1.00・0.90 (F) 残土:21.41m³ 用・排水溝 Vs・1.00・1.00 (F) 残土:23.01m³</p> <p>上記については、交付図書を訂正致します。後日、訂正公告をご確認願います。(2月8日掲載予定)</p>
12	<p>特記仕様書 26.26-8-2、図面(土工) 105/134・106/134 用排水工詳細図(3)、(4)において</p> <p>$U \cdot a_1 \sim a_2 \cdot b$ $U \cdot a \cdot b_1 \sim b_2$ $U \cdot a_1 \sim a_2 \cdot b_1 \sim b_2$ (擦付部用排水) は検測の単位が「m」ですが図面の数量表は「箇所当たり」となっております。設計数量1「m」あたり1「箇所」と読み替えて積算すればよろしいでしょうか。</p>	<p>数量明細表に示す数量のとおり計上願います。</p>
13	<p>特記仕様書 12.12-1 工事用道路の指定</p> <p>図面(土工) 1/134 位置図(1)において</p> <p>工事用道路(2号線)が当該工事の施工範囲でどの位置に設置するのか判明しにくいので計画図面がありましたら明示願います。</p>	<p>工事用道路2の範囲は、C1-STA.0+00~C1-STA1+20となります。設計図(参考図) 6/6を参照ください。</p>

1 4	図面（参考図）4/6 運搬路工において 運搬路工は本工事で施工しないと考えてよろしいでしょうか。	参考図に示す運搬路工は、天童市にて施工するものになります。閲覧資料を参照ください。
-----	---	---